

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

金沢ふたば保育園

横浜市金沢区富岡東二丁目1番14号

運営主体: 社会福祉法人 黎明会

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価 (評価結果についての講評)	2~4 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	5~7 ページ
● 分類・項目別評価結果	8~19 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	20~27 ページ
● 利用者本人調査分析	28~29 ページ
● 事業者コメント	30 ページ

公表日: 2016年11月24日

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	金沢ふたば保育園（保育所）		
報告書提出日	2016年11月1日	評価に要した期間	6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

■評価方法

1、自己評価 実施期間 2016年5月1日～2016年8月23日	① 職員会議で説明し、全職員が記入した。 ② 全職員をくじ引きで5つのグループに分け、グループごとに話し合いを行い、代表者がまとめた。 ③ 各グループの代表者が持ち寄ったものを、園長・主任でまとめた。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2016年7月14日～2016年7月29日	① 全園児の保護者（84世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2016年9月13日 第2日 2016年9月16日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：2歳児、幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。 [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士6名、管理栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2016年9月13日 第2日 2016年9月16日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

金沢ふたば保育園は、横浜新都市交通シーサイドライン南部市場駅から徒歩で2分の所にあります。園は福祉関連施設が並ぶ地区にあり周囲に民家はほとんどありませんが、南部市場や富岡総合公園が近く、子どもたちは市場で働く人々や豊かな自然と触れ合うことができます。

金沢ふたば保育園は、平成15年（2003年）4月に、社会福祉法人黎明会によって開設されました。同じ金沢区内に姉妹園として学校法人が運営する幼稚園があります。

園舎は鉄筋コンクリート造2階建てで、1階ホールが吹き抜けとなっていて、広々として明るいです。2階には広いベランダがあり、夏には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。園庭は全面芝生で、子どもたちが裸足で遊ぶことができます。

定員は90名（産休明け～5歳児）、開園時間は、平日（月～金）は7:00～20:00、土曜日は7:00～18:30です。

保育理念は「子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指します」、保育方針は「21世紀を担う子どもたちが明るく心豊かに育つ保育を行います」、保育目標として「明るく元気な伸び伸びとした子ども」「自然に親しむ感性豊かな子ども」「一人ひとりに添った保育」です。

◆ 高く評価できる点

1、様々な経験を積み重ね、子どもたちはのびのびと園生活を楽しみ、成長しています

園では、様々な経験を積み重ねていくことで、一人一人の子どもたちが興味や関心の幅を広げ、意欲を持って取り組めるように支援しています。

乳児は、一対一の関わりを大切に、小さな集団の中で個々のリズムに沿った生活ができるように働きかけています。0・1歳児は、食事や睡眠などの生活面は1人から3人の小さなグループに分け、保育士がその子どもの成長に合わせて個別にきめ細かく支援しています。保育士にたくさん話しかけてもらい、スキンシップをたくさん取ってもらっているため、子どもたちは自分を素直に表現し、落ち着いて園生活を過ごしています。

幼児は、多種多様な遊具が用意され、落ち着いて遊び込めるようコーナーなどの環境設定がされています。その日に使うことができる玩具等と使うことができない玩具等の写真を掲示して子どもに知らせ、子どもが主体的に選べるようにしています。一人で集中して指先を用いる遊びをする子ども、友だちと話し合いながらごっこ遊びをする子ども、友達と協力してブロックの大きな作品を作る子どもなど、子どもたちは思い思いに好きな遊びに集中して取り組んでいます。

また、晴れていれば毎日、園庭や散歩先の富岡総合公園で思いっきり身体を動かし、季節の自然に触れています。子どもたちは身体を動かすことが大好きで、リズムやダンスなどで身体全体を使って自己表現しています。

個々に合わせた保育としては、習熟度別プールや箸やはさみの指導などがあります。2歳児クラスから開始する習熟度別プールでは、3歳児クラスになると子ども自身が5段階あるコースから自分が参加したいコースを選び、自分で定めた目標に向けてそれぞれのペースで頑張ります。

このように、子どもたちはのびのびと園生活を楽しみ、様々な経験を通して多くのことを学んでいます。

2、保育士は理念を共有し、「子ども一人一人を大切にしたい保育」を実践しています

保育士は、職員会議などで理念の確認をし、方向性を共有して保育にあたっています。クラスで話し合い日々の保育を振り返るとともに、年度末には理念や「子どもの最善の利益」についての項目がある

園独自の自己評価表を用い自身の保育が理念に沿っているかを確認しています。

保育士は、子どもの言葉に耳を傾けて一人一人の子どもの思いを確認し、個別支援会議などで方向性を共有し、それぞれの子どもがその子らしさを発揮できるように支援しています。幼児になると子ども同士の話し合いでその日の活動や行事の演目を決めたりしていますが、保育士はあまり発言しない子どもの思いを拾って口添えし、子どもたちが人は皆違う意見を持っていることや人の意見を聞く大切さを理解できるように働きかけています。

保育士は話し合いの中で子どもの最善の利益になると判断すれば、多くの保育士の手が必要となることであってもあえて選択し、保育士全員で連携して実践しています。実践例としては、乳児の食事や午睡などでの個別支援や、幼児の午睡前に一人一人がおひざで絵本を読んでもらう週一回の「おひざでご本の日」などがあります。

◆ 独自に取り組んでいる点

1、「大きな家の大家族」をイメージし、異年齢保育に力を入れています

「大きな家の大家族」という方針のもと、「幼児クラスの乳児クラスへのお手伝い」と「幼児クラスの縦割り保育」という特色のある縦割り保育（異年齢児保育）を実施しています。

5歳児になると朝の人数調べ、園内の掃除、お茶の準備、2歳児の朝おやつを用意など係に分かれて様々なお手伝いがあります。訪問時にも、自分達なりに責任感をもち、主体的に活動に取り組む姿が見られました。また、係とは別に子どもが自分から立候補するお手伝いに「乳児クラスのお手伝い」があります。「乳児クラスへのお手伝い」は、子どもの心を育てることをねらいとして、5歳児クラスを中心に、給食後に乳児クラスの子どもたちの着替えを手伝ったり、絵本を読んだりしています。

「幼児クラスの縦割り保育」として、「ミックスベジタブル」と名付けられた取り組みがあります。“それぞれの野菜はおいしいけど、3種類そろったらもっとおいしいね！”という考え方に基づいて、3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスの子ども3名が1つのグループとして、週1回、1年を通して活動しています。ミックスベジタブルの日には、朝の会から帰りの会まで、給食の時間も一緒に3名が過ごしています。年度当初の給食では、食事のよそい方などを年上の子どもが年下の子どもに教える姿などを見ることができます。ミックスベジタブルでクッキングを行ったり、散歩に行ったり、運動会ではミックスベジタブル対抗の応援合戦を行うなど、活動の内容は多岐に渡っています。

2、工業団地の中にあるという地域の特性に合わせた地域との関わり方を工夫しています

園の周囲は公共施設や企業が多く、近くにあった公務員住宅が移転してからは、子育てをする家庭がほとんどいない状況となっています。そのため、園が子育て支援事業として実施している園庭開放、育児相談、栄養相談、赤ちゃん駅（乳児を連れた地域の親子が授乳やおむつ替えなどに立ち寄れる場）などの利用者が少なくなっています。このような地域性を踏まえ、園は地域社会福祉協議会の「エンジョイ委員会」などで地域の保育イベントに参画し、地域に関する情報を得ています。また、地区の保育園8園や、地区の社会福祉協議会等協力して、「スポーツフェスティバル」や「にこポカ！とみおか・なみきっず」、「おやこわくわくひろば」など、地域の親子に向けたイベントを行い、その専門性を地域に還元しています。

このように地域は、散歩などで地域住民と日常的に触れ合うことは難しい状況ですが、園では、近隣の高齢者福祉施設や南部市場、企業などと子どもたちが交流する機会を設けています。高齢者施設とはお互いの行事に行き来し、子どもたちとお年寄りの世代間交流の場としています。また、南部市場にクッキングの材料を買いに出かけたり、ハロウィンで仮装して市場や企業を回ったりすることで、子どもたちがいろいろな人と触れ合うとともに、働く大人の姿を実際に見て社会性を養えるようにしています。

◆ 改善や工夫が望まれる点

保護者への情報提供のさらなる工夫が期待されます

園は毎月園だより「ふたばっこ」を発行し保護者に情報提供するとともに、朝夕の送迎時には保育士は保護者との会話に努め、園での活動の様子を伝えています。また、懇談会や個別面談などでも園の方針を伝え保護者の意向を聞いています。行事後や年度末の保護者アンケートでも保護者の意向を聞き、園の考えをフィードバックしています。

このような園の取り組みは今回の保護者アンケートの高い支持率につながっています。ただし、自由記述欄には園が大切にしている薄着や裸足について保護者から不安の声が見られます。園の方針だけでなく園が行っている細かな配慮についても具体的に説明することが期待されます。また、一目で情報を把握できるよう掲示物を整理するなど、情報伝達のさらなる工夫が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・保育理念は、「子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指します」、保育方針は、「21世紀を担う子どもたちが明るく心豊かに育つ保育を行います」で、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・「虐待に関する解説&マニュアル」があり、全職員に配付し周知しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合は金沢区こども家庭支援課、横浜市南部児童相談所などの関係機関と連携する体制ができています。
- ・職員会議などで、職員が相互に言動を振り返る機会を持っています。年1回年度末に行う職員各自の自己評価では、「子どもの最善の利益とはどういうことでしょうか」、「人権に配慮した保育について、思うところがあったら記入して下さい」などの質問を設定し、職員各自が自分の保育を振り返り、園長に提出をしています。
- ・保護者に対して、「入園のしおり」でプライバシーポリシーを説明しています。ホームページへの写真掲載については、子どもはもちろん、保護者の写真の掲載についても「ホームページ写真の掲載についての可否申出書」を通して確認しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・日々の保育の中で、子どもたちがやりたいことを行事につなげるなど子どもの意見や意思を指導計画に活かしています。
- ・多種多様な玩具や教材を用意し、さまざまな遊びが展開できるような保育環境を設定しています。3・4・5歳児クラスでは、その日に使うことができる玩具等と、使うことができない玩具等の写真を掲示し、子どもたちに知らせています。
- ・「大きな家の大家族」という方針のもと、「幼児クラスの乳児クラスへのお手伝い」と「幼児クラスの縦割り保育」という特色のある縦割り保育（異年齢児保育）を実施しています。
- ・散歩や屋外活動を積極的に取り入れ、天気の良い日には屋外に出るようにしています。近くに県立富岡総合公園があり、散歩の目的や子どもの発達状況に応じて、公園のどの場所で遊ぶか決定しています。
- ・夏場には、毎日プール遊びを楽しんでいます。0、1歳児クラスは園内のビニールプールで遊び、2歳児クラスになると、習熟度別のプールが開始されます。
- ・食事は、ありがたく、おいしく、楽しく食べることを基本に、食事マナーの習得にも力を入れています。
- ・食育の取り組みとして、園庭で育てた野菜をピザにトッピングをしたり、赤紫蘇を細かくして、ごはんにふりかけるなど日々の生活のなかで子どもが興味を持てるように取り組んでいます。
- ・乳児クラスの子どもたちは、保育士の膝で対一になって絵本を読んでもらってから毎日就寝しています。就寝する際には一斉ではなく、数人ずつ午睡室に入るようにしています。幼児クラスでも、週1回は、個別に絵本を読んでもらってから就寝をしています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・子どもや家庭の状況・要望などは、入園時に保護者に児童票に記載してもらっています。入園後の子どもの成長発達、乳児は毎月、幼児は期ごとに月案の項目に沿って記録しています。子どもの記録は事務室に保管し、職員は必要な時にいつでも確認することができます。
- ・園は統合保育を掲げていて、特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。個別支

援が必要な子どもについては、個別支援委員会で話し合っています。

- ・園は障がいがある子どもと他の子どもとの集団での関わりを大切にしています。障がいがある子どもの思いや意見を拾って伝え、子どもたちがいろいろな子どもがいることを理解できるように働きかけています。
- ・「健康管理・安全管理マニュアル」を整備しています。マニュアルに改訂があった際には、改訂箇所を職員会議で伝達しています。また、職員休憩室などにも、変更箇所に関するお知らせが置かれていますが、年1回以上、研修を実施するまでには至っていません。
- ・月1回行う安全委員会や職員会議、非常勤職員会議などで、ケガや事故、ヒヤリハットを報告・共有し、「なぜ起きたのか」、「どうすれば防げたのか」など再発防止策の検討し、保育士の立ち位置を改善するなどしています。

4、地域との交流・連携

- ・地域社会福祉協議会の「エンジョイ委員会」や、学区小学校との定期的な交流、幼保小教育連携事業研究会、学区内の保育園交流などを通して、関係機関や他園、他の社会福祉施設と、情報交換やイベントなどについて検討会を行っています。
- ・地域子育て支援として、一時保育（2歳以上）や園庭開放（週3回）、育児相談、育児講座（ベビーマッサージ）、交流保育（園行事への招待）、赤ちゃん駅（乳児を連れて地域の親子が授乳やおむつ替えなどに立ち寄れる場）などを実施しています。
- ・地域住民に向けて、育児相談や栄養相談を実施しています。
- ・学区の小学校と、年5回程度、定期的に交流をしています。また、小学校1年生の担任に、園で流行っている遊びやダンスなどを伝えたり、中学校との連携として職場体験を受け入れています。
- ・近隣にある2つの高齢者施設と日常的な交流をしています。5歳児クラスは、毎年高齢者施設の野点やフラダンスに招待されています。子どもたちは高齢者に歌を披露したり、会話をしています。また、園の夕涼み会に高齢者を招待するなど、お互いの施設を行き来しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・保育士一人一人の自己評価を踏まえ保育所としての自己評価を行っています。自己評価の結果について職員会議で話し合い、保育所としての課題を明らかにし改善に向けて取り組んでいます。
- ・職員の自己評価、保護者アンケートの集計結果を数値化し、ホームページに掲載しています。また、園としての自己評価もホームページに掲載しています。
- ・ホームページで資金収支計算書、貸借対照表を公表しています。
- ・横浜市緑アップ計画緑化助成事業に応募し、園庭を芝生化していて、横浜市緑アップ計画のステッカーを門の外の掲示板に貼っています。
- ・非常勤職員を含む全職員が出席する全体職員会議で理事長、園長が理念について話しています。また、必要に応じて職員会議で取り上げ、確認しています。自己評価シートにも理念についての項目を設け確認しています。
- ・異なる部門の職員による安全委員会、食育委員会などの委員会があり、組織を上げて取り組む体制ができています。
- ・園長や理事長は職員会議などで、今後の方向性などを職員に示してはいますが、中長期計画として文書化するまでには至っていません。理事長、園長などの経営層と現場の職員とで進むべき方向性についてすり合わせを行い、理念に向かってどのように進むかを、中期計画としてまとめることが期待されます。



6、職員の資質向上の促進

- ・人材育成計画としては「職員育成要綱」を策定しています。「個人目標シート」を用い、年度初めの園

長面談で前年度の振り返りと目標設定を行い、年度半ばの面談で中間期の達成度合いの評価をしています。

- 園内研修としては、熱性けいれんの対応、アレルギー対応などの研修を実施しています。非常勤職員に対しては、非常勤職員会議でフィードバックしています。職員は、横浜市や神奈川県、横浜市南部地域療育センターなどが主催する外部研修に積極的に参加しています。外部研修に参加した職員は研修報告書を作成するとともに、職員会議で報告しています。
- 「職員育成要綱」で非常勤職員も職員と同じ資質向上の取り組みを行うことを定め、非常勤職員に対しても「個人目標シート」を用い、人材育成を行っています。
- 保育士は、「個人目標シート」を用いて目標設定と達成度の評価を行っています。また、保育の計画性・人権、保育の在り方、保育者としての資質、保護者対応、などの9項目の「自己評価シート」を用い自己評価しています。

評価領域 I 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念は、「子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指します」、保育方針は、「21世紀を担う子どもたちが明るく心豊かに育つ保育を行います」、保育目標は、「明るく元気な伸び伸びとした子ども」「自然に親しみ、感性豊かな子ども」「一人ひとりに添った保育」で、利用者本人を尊重したものとなっています。全職員が参加する年度初めの全体職員会議で、理事長、園長が周知しています。また、全保育士対象の自己評価の項目にも保育理念や子どもの最善の利益についての項目があり、確認する仕組みができています。 ・保育課程は子どもの最善の利益を第一義に、保育理念や保育方針、保育目標に沿って作成されています。地域の実態や周囲の環境、保護者への支援についても具体的に記載されています。保育課程は全体職員会議で全職員に説明し、意見を聞いています。保護者に対しては、入園時や年度初めの保護者会で配付し、説明しています。 ・保育士は、子どもの表情、反応、しぐさ等を観察し、子どもの意思を汲み取っています。言語化できる子どもからは意見や要望を聞いています。日々の保育の中で、子どもたちがやりたいことを行事につなげるなど子どもの意見や意思を指導計画に活かしています。事例としては、畑作業で必要なものとして子どもから出た案山子を皆で作成し発表会に登場させた、また運動会で何をやりたいかを話し合い組体操を取り入れたなどがあります。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  <p>(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会で園長、主任、事務が説明し、担任が入園面接表を用いて面接しています。離乳食やアレルギーなど必要に応じて、主任、栄養士も同席しています。面接時に把握された情報は記録して事務室に保管し、必要な時にいつでも確認することができます。 ・面接時にならし保育（短縮保育）について保護者と話し合い、実施しています。入園後しばらくは、食事や記録を主に担当する保育士を決めています。 ・1歳の新入園児はしばらく0歳児と過ごし、子どもの様子を見て1歳児クラスで在園児と一緒にするなど、0・1歳児は一人一人の子どもの状況に合わせて柔軟なクラス編成をしています。環境が変わる2歳児は担任が一人持ち上がるようにしています。1歳児の年度の終わりには2階の2歳児保育室で一緒に過ごすなどの配慮をしています。 ・子どもの発達や状況に合わせて、年間指導計画、月案、週案を作成しています。指導計画はクラス会議で子どもの状況について話し合って作成し、職員会議で周知しています。行事後や年度末には保護者アンケートを実施し、結果を行事の内容などに反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・衛生管理マニュアルに沿って清掃が行われていて、屋内・外とも清潔に保たれています。保育室に温・湿度計を設置し、エアコン、床暖房、加湿器、空気清浄機を用いて管理をしています。
- ・3・4・5 歳児保育室は広いワンルームとなっていますが、集会など落ち着いた活動をする時にはカーテンを用いて仕切ったり、奥の多目的保育室を用いるなどの工夫をしています。保育士は穏やかに子どもに話しかけていて、保育士の声が騒音となることはありません。
- ・0・1 歳児保育室に沐浴設備、0・1 歳児保育室、1 階および2 階のテラスに温水シャワーの設備があります。沐浴・温水シャワーの設備は毎日清掃されていて、管理が行き届いています。
- ・0・1 歳児保育室は、柵やたたみ、ロッカーなどを用いて保育室を仕切り、小集団で活動できるようになっています。2 歳児保育室は、ロッカーや敷物を用いて保育室を仕切り、活動ごとのコーナーに分けています。
- ・0・1 歳児と3・4・5 歳児はそれぞれワンルームとなっていて、日常的に交流しています。異年齢児交流の場としては1 階のホールがあります。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・乳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても、障がいなど特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。個別支援委員会で子どもの発達状況について話し合い、計画や目標の変更、見直しをしています。結果はクラス会議や職員会議で報告し、職員間で共有しています。
- ・子どもや家庭の状況・要望などは、入園時に保護者に児童票に記載してもらっています。入園後の子どもの成長発達は、乳児は毎月、幼児は期ごとに月案の項目に沿って記録しています。子どもの記録は事務室に保管し、職員は必要な時にいつでも確認することができます。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。
- (5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・園は統合保育を掲げていて、特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。
- ・個別支援が必要な子どもについて個別支援委員会で話し合っていて、個別の記録があります。個別支援委員会での検討事項はクラスや職員会議で報告し、職員間で共有しています。職員は、個別支援に関する外部研修に参加し、職員会議で報告しています。また、「気になる子、気になる親」というテーマで園内研修を行うなど、積極的に学習しています。
- ・保護者の同意を得て南部地域療育センターの巡回相談を受けています。障がいの特性を考慮した個別指導計画を作成しています。
- ・園は障がいがある子どもと他の子どもとの集団での関わりを大切にしています。障がいがある子どもの思いや意見を拾って伝え、子どもたちがいろいろな子どもがいることを理解できるように働きかけています。
- ・「虐待に関する解説&マニュアル」があり、全職員に配付し周知しています。また、新人職員に対して視診の研修を実施し、早期発見できる体制を整えています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合は金沢区こども家庭支援課、横浜市南部児童相談所などの関係機関と連携する体制ができています。
- ・「食物アレルギー対応マニュアル」があり、全職員に周知しています。子どものかかりつけ医による「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、それに基づき保護者と担任、管理栄養士、主任が話し合っ保護者の合意を得、除去食を提供しています。除去食を提供する場合には、調理室、保育士への引き渡し時、子どもへの提供時に声を出し合っ確認しています。別トレイ、名札、別食器を用い、食事をする際には保育士が横につき、誤食を防いでいます。また、災害時アレルギー一覧、災害時アレルギー用ワッペンなど災害時における体制を整えています。
- ・外国籍や帰国子女など文化の異なる子どもに対しては、文化や生活習慣の違いを認め尊重しています。意思疎通が困難な場合には、ゆっくり話したり、日本語が得意な家族を通すなどの工夫をしています。今後、全く日本語が通じない保護者が入園した場合には、通訳ボランティアを利用する体制を整えています。

I-6 苦情解決体制




- (1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・苦情解決事業実施要綱があります。ホールに、苦情解決の流れを記したフローチャートを掲示し、保護者に周知しています。フローチャートには苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の氏名と連絡先などが明記されています。
- ・ホールに意見箱を設置するとともに、送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会で保護者の意見・要望を把握しています。また、行事後と年度末に保護者アンケートを実施しています。
- ・要望や苦情は職員会議で報告し、対応や改善について話し合っいて、記録もあります。

- ・保護者アンケートで寄せられた意見・要望などは、集計結果とともに個別の回答を文書にまとめ、保護者にフィードバックしています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な玩具や教材を用意し、さまざまな遊びが展開できるような保育環境を設定しています。乳児クラスでは、手作りのペットボトルマラカスや色水のペットボトル、さまざまな種類のブロック、人形、人形用のおんぶひも、絵本などを用意しています。幼児クラスでは、各種ブロックや積み木、パズル、手作りカード、折り紙、指先遊び、ふくわらい、絵本、すごろく、ねんど、写し絵、おままごと、おしゃれ玩具などを用意しています。3、4、5歳児クラスでは、その日に使うことができる玩具等と、使うことができない玩具等の写真を掲示し、子どもたちに知らせています。子どもたちはそれを見ながら、思い思いに玩具取り出し、保育室にあるさまざまなコーナーで遊びを展開しています。その日に使うことができる玩具の選定については、その日の主活動の内容を考慮して保育士が決定しています。 ・子どもの提案を大切に、集団活動に取り入れています。日案をもとに、その日の子どもの状況や発想に合わせた集団活動を行っています。幼児クラスになると、運動会の演目など、子どもたちの意見を取り入れながら決定しています。 ・園庭の畑では、じゃがいもやさつまいも、大根、オクラ、トマトなどを栽培しています。また、金魚やカブトムシ、カタツムリなどの飼育をしています。5歳児クラスでは、藍を育てて、藍染めをしたり、0、1歳児クラスでは育てた朝顔で色水を作るなど、栽培を、保育活動にフィードバックしています。 ・4、5歳児クラスを中心に、月1回、造形の外部講師を招いて造形を学んでいます。3歳児クラスから、月2回、英語を学んでいます。外国の言葉だけでなく、文化にも触れる良いチャンスになっています。 ・「大きな家の大家族」という方針のもと、「幼児クラスの乳児クラスへのお手伝い」と「幼児クラスの縦割り保育」という特色のある縦割り保育（異年齢児保育）を実施しています。 「乳児クラスへのお手伝い」は、子どもの心を育てることをねらいとして、5歳児クラスを中心に、給食後に乳児クラスの子どもの着替えを手伝ったり、絵本を読んだりしています。 「幼児クラスの縦割り保育」として、「ミックスベジタブル」と名付けられた取り組みがあります。“それぞれの野菜はおいしいけど、3種類そろったらもっとおいしいね！”という考え方に基づい

て、3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスの子ども3名が1つのグループとして、週1回、1年を通して活動しています。

- ・散歩や屋外活動を積極的に取り入れ、天気の良い日には屋外に出るようにしています。近くに県立富岡総合公園があり、散歩の目的や子どもの発達状況に応じて、公園のどの場所で遊ぶか決定しています。斜面を使った遊びが子どもたちに人気で、乳児クラスでは這って登ったり、幼児クラスでは、滑り降りる方法を、子どもたちの間でいろいろ工夫しながら楽しんでいます。
- ・夏場には、毎日プール遊びを楽しんでいます。0、1歳児クラスは園内のビニールプールで遊び、2歳児クラスになると、習熟度別のプールが開始されます。コースは「ちゃぷちゃぷコース」から「イルカコース」までの5段階で、まずは保護者と担任がコースを決め、3歳児クラスになると子ども自身が目標を立てて、コースを決定しています。姉妹園の幼稚園にあるプールに行ったり、5歳児クラスになると、地域にある25mプールに全員で行く機会もあります。

Ⅱ-1 保育内容[生活]



- (7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ・食事は、ありがたく、おいしく、楽しく食べることを基本に、食事マナーの習得にも力を入れています。
- ・管理栄養士を配置し、月1回の献立会議をもとに、季節感のあるメニューを提供しています。
- ・1歳児クラスの途中から、食べられる量を子どもに聞くように配慮し、3歳児クラスからはバイキング方式の給食を取り入れていきます。自分が食べられる量を自分で把握してよそうことで、残さずに食べることができ、達成感が得られるように取り組んでいます。よそう量は保育士が確認しながらも、子ども同士で「野菜少ないんじゃない？」など助言し合う姿が見られました。
- ・乳児の授乳や離乳食は、一対一で、子どもの目をみながら抱っこをして、ゆったりとした雰囲気なかで与えている様子が見られました。また、保護者の意向に応じて、母乳の受け入れも行っています。
- ・食育の取り組みとして、園庭で育てた野菜をピザにトッピングをしたり、赤紫蘇を細かくして、ごはんにふりかけるなど日々の生活なかで子どもが興味を持てるように取り組んでいます。園の野菜を使って「ふたば汁」と名付けた汁物を親子で作リ、「ふたばっこまつり」で提供をする取り組みや、クッキングに向けて子どもたちと市場に買い物に行く取り組みも楽しみの一つとなっています。
- ・子どもの発達を考慮し、5種類のスプーンを用意しています。年齢に関わらず、子どもの状況にあわせて段階を踏んで、スプーンの種類を移行できるようにしています。箸の使用については「おはしクラブ」と称する取り組みがあります。「おはしクラブ」の中で合格すると、給食で箸を使うことができるようになります。
- ・土曜日には、栄養士や調理員が子どもの食事の様子を見ています。

また、担任と栄養士が協力をして、幼児クラスを中心に、食品群を三色に分けて栄養の話をしたり、紙芝居を用いて、命を頂くことについて説明しています。5歳児クラスでは、弁当箱を用意し、栄養バランスを考えながら、子どもたちに料理を詰めてもらうという取り組みも行っています。

- ・「おすすめレシピ集」を園の玄関に置き、保護者がレシピ集のファイルのなかから自由にレシピを持ち帰ることができるようにしています。給食だよりやホームページにも、レシピを掲載しています。

乳児クラスの子どもたちは、保育士の膝で一対一になって絵本を読んでもらってから毎日就寝しています。就寝する際には一斉ではなく、数人ずつ午睡室に入るようにしています。幼児クラスでも、週1回は、個別に絵本を読んでもらってから就寝をしています。

- ・乳児クラスでは、子どもの排泄状況を連絡帳に記し、日々保護者に知らせています。トイレトレーニングに向けて個別のタイミングを重要視し、保護者と保育士が連携を密にしています。

Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・「健康・安全管理マニュアル」があります。マニュアルには、健康支援や健康増進、疾病やケア等への対応、安全管理、衛生管理などが記されています。

入園のしおりには、登園時に体温が37.5度°C未満であることや登園停止をお願いする伝染病を掲載し、保護者に知らせています。

- ・歯磨き指導は、2歳児クラスから時期をみて始めています。子どもたちが歯に興味を持つことができるように、2歳児クラスの保育室内に歯並びや歯の形がわかるよう口の中のイラストを掲示しています。
- ・毎月の身体測定、年2回の健康診断、年1回の歯科健診など、健診の記録を身体測定表や内科健診の表に記録しています。
- ・「入園のしおり」に、「健康管理」や「登園停止をお願いする伝染病」を明記し、保育中に体調の変化があった場合の対応や、予防接種の接種後について、また登園許可書の必要性などを保護者に伝えています。

Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・「健康・安全管理マニュアル」のなかに、衛生管理に関する事項が記されています。保育室や調理室、園庭、砂場の衛生管理や、食中毒等の予防と対応について記されています。その他に、管理栄養士が作った「給食業務のための衛生管理マニュアル」があり、調理員全員が持っています。

- ・衛生管理に関するマニュアルに改訂があった際には、改訂箇所を職員会議で伝達しています。また、職員休憩室などにも、変更箇所に関するお知らせが置かれていますが、年1回以上、研修を実施するまでには至っていません。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・地震や火災だけでなく、竜巻や津波発生時の対応について職員間で検討し、マニュアルの改訂に取り組んでいます。
- ・月1回行う安全委員会や職員会議、非常勤職員会議などで、ケガや事故、ヒヤリハットを報告・共有し、「なぜ起きたのか」、「どうすれば防げたのか」など再発防止策の検討し、保育士の立ち位置を改善するなどしています
- ・園の出入り口はオートロックになっており、保護者は個別のICカードにより開閉をしています。警備会社のセキュリティシステムを導入し、園内9箇所に防犯カメラを設置しています。
- ・窓はガラスが飛散しにくいものを使用するなど、配慮をしています。また、月1回、「自主点検簿」に基づき、設備等の自主点検を行っています。一方で、保育室にある棚などを、移動して使っている関係で、地震等を想定した家具の固定を行うことができていません。キャストの付いている棚なども保育室に複数あるため、今後対策が必要と思われます。

Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・職員会議などで、職員が相互に言動を振り返る機会を持っています。年1回年度末に行う職員各自の自己評価では、「子どもの最善の利益とはどういうことでしょうか」、「人権に配慮した保育について、思うところがあったら記入して下さい」などの質問を設定し、職員各自が自分の保育を振り返り、園長に提出をしています。
- ・保育士は、子どもの気持ちを言葉で表現したり、遊びを複数提案して子どもに選んでもらうようにするなど、子どもの気持ちを受け止め、自主性を育むことができるように努めています。遊びや歌などの際、「何にする?」、「どっちにする?」など子どもが選ぶことができるように言葉かけをする場面が見られました。
- ・保育士等の視線を意識せずに過ごせる場所として、階段下の絵本のスペースなどがあります。また、保育室内では、つい立などを用意して、子どもが落ち着くことができるように配慮しています。
- ・保護者に対して、「入園のしおり」でプライバシーポリシーを説明しています。ホームページへの写真掲載については、子どもはもちろん、保護者の写真の掲載についても「ホームページ写真の掲載についての可否申出書」を通して確認しています。
- ・無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員自己評価シートを通して振り返りをしています。
- ・個人情報に関する記録は、事務所の書庫で保管・管理しています。事務室に施錠し管理していますが、鍵のかかる棚に保管することはできていません。



Ⅱ－４ 保護者との交流・連携




- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。



- ・年 1 回、園独自の保護者アンケートを実施し、保育方針の理解度を確認しています。アンケートの数値は、ホームページに掲載しています。今回第三者評価で行った家族アンケートでは、8 割以上の保護者が「よく知っている・まあ知っている」と答えています。
- ・入園時に「ふたばっこ保育の特色」を保護者に配布し、縦割り保育や散歩、薄着。裸足の習慣、造形・英語・体操、食育、プールなど、特長のある取り組みについて具体的に保護者に伝えていきます。
- ・個別面談を年 1 回行っています。一定の期間を設け、希望日を確認して実施をしており、全家庭で実施することができています。
- ・全体の懇談会を年 1 回 4 月に行っており、その後、クラス懇談会を実施しています。また、保育環境が大きく変わる 1・2 歳児クラスの進級説明会を 3 月に実施しています。前年度までは年 2 回懇談会を実施していたのですが、保護者の要望を受けて、今年度よりこの形式に変更しています。
- ・相談の記録は、「個人面談記録」に記録し、個人別のファイルに綴じ、継続的なフォローを行っています。
- ・「園だより」、「クラスだより」、「給食だより」、「ほけんニュース」、「献立」を一つにまとめて、月 1 回発行しています。「園だより」は園長と主任が作り、「クラスだより」は全クラスの分を綴じています。事務、栄養士も関わり、「大きな家の大家族」という方針を意識した取り組みとなっています。
- ・保育参加の機会として、0～1 歳児クラスでは、遠足の後、給食場面に入るなどしています。2 歳児クラス以上では、毎月行う誕生日会を保育参加の機会としています。誕生会に参加した保護者はエプロンを着用して、各クラスの活動や給食に同席しています。また、毎月保護者が提出する「保育時間予定表」に、保育参観の希望日を書けるようになっており、保護者の希望に応じて、随時保育参観ができるようになっていきます。
- ・保護者の負担を軽減するため、保護者会を設置していません。保護者の自主的な活動として、卒園式後の謝恩会があります。謝恩会の打ち合わせのために、場所を提供しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会福祉協議会の「エンジョイ委員会」や、学区小学校との定期的な交流、幼保小教育連携事業研究会、学区内の保育園交流などを通して、関係機関や他園、他の社会福祉施設と、情報交換やイベントなどについて検討会を行っています。 ・地域子育て支援として、一時保育（2歳以上）や園庭開放（週3回）、育児相談、育児講座（ベビーマッサージ）、交流保育（園行事への招待）、赤ちゃん駅（乳児を連れて地域の親子が授乳やおむつ替えなどに立ち寄れる場）などを実施しています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談にしているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に向けて、育児相談や栄養相談を実施しています。 ・「病院リスト」や「関係機関連絡先」、「緊急連絡先一覧」を事務室に掲示し、職員が情報共有をしています。「病院リスト」は、小児科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、歯科、総合病院などの診療時間、休診日、住所、連絡先を掲載し、「関係機関連絡先」には、南部地域療育センター、保健師、南部児童相談所、金沢区こども家庭支援課、金沢区消防署などの連絡先を掲載しています。 ・育児相談の相談日を設けていませんが、いつでも相談を受け付けることができることを園の掲示板などで知らせています。



評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の小学校と、年5回程度、定期的に交流をしています。5歳児クラスの子どもたちが就学に期待を持つことができるように、小学生が来園したり、5歳児クラスの子どもたちが小学校に行き、学校探検や模擬授業などを実施しています。また、小学校1年生の担任に、園で流行っている遊びやダンスなどを伝えたり、中学校との連携として職場体験を受け入れています。 ・近隣にある2つの高齢者施設と日常的な交流をしています。5歳児クラスは、毎年高齢者施設の野点やフラダンスに招待されています。子どもたちは高齢者に歌を披露したり、会話をしています。また、園の夕涼み会に高齢者を招待するなど、お互いの施設を行き来しています。このほかに、他園とドッジボールの交流をしたり、小学校との交流も行っています。


<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットやホームページに、園の特色ある保育内容や行事の写真などを掲載し、将来の利用者が関心を持って見るような情報提供をしています。 ・見学の時間帯は、子どもたちの活動の様子がよく分かる午前中をすすめています。
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア受入規程」を明示し、ボランティアを受け入れています。ボランティアは、中学生や大学生で、短期的な関わりが主となっています。 ・保育士養成や教師、栄養士、ブランクのある保育士の実習など、個々に実習の目的が異なるため、実習目的に応じた実習予定表を個別に作成しています。保育の実習生には、読み聞かせをしてもらったり、栄養士の実習生には、幼児クラスに食育の話をしてもらうなど、工夫しています。



評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅴ－１ 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画として「職員育成要綱」を策定しています。「個人目標シート」を用い、年度初めの園長面談で前年度の振り返りと目標設定を行い、年度半ばの面談で中間期の達成度合いの評価をしています。「個人目標シート」には、目標とその達成度だけでなく、求められていることや貢献できること、長所と短所、資質向上計画などについての項目も設けています。 ・職員の希望や、経験・役割、過去の受講履歴、「個人目標シート」に記載された目標等を考慮し、園長、主任が研修計画を作成しています。園内研修としては、熱性けいれんの対応、アレルギー対応などの研修を実施しています。非常勤職員には、非常勤職員会議でフィードバックしています。職員は、横浜市や神奈川県、南部地域療育センターなどが主催する外部研修に積極的に参加しています。外部研修に参加した職員は研修報告書を作成するとともに、職員会議で報告しています。 ・業務にあたっては、必ず常勤職員と非常勤職員が組み合わせるよう配置しています。「職員育成要綱」で非常勤職員も職員と同じ資質向上の取り組みを行うことを定め、非常勤職員に対しても「個人目標シート」を用い、人材育成を行っています。園内研修だけでなく、外部研修への参加も呼び掛けています。非常勤職員の指導担当は園長、主任

	<p>で、非常勤職員会議を開催し、職員会議の報告を行うとともに、非常勤職員の意見、要望を聞いています。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。 (2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。 (3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士は、「個人目標シート」を用いて目標設定と達成度の評価を行っています。また、保育の計画性・人権、保育の在り方、保育者としての資質、保護者対応、などの9項目の「自己評価シート」を用い自己評価しています。保育園の自己評価は、運営管理、危機管理、保育環境、など9項目の「保育園自己評価表」を用いて実施しています。 ・消防署と地域の会社と一緒に避難訓練でアドバイスを受れたり、南部地域療育センターの巡回指導を受けて環境設定を工夫するなど、外部の評価・指導を現場に活かしています。 ・年間指導計画、個別指導計画、月案、保育日誌などには振り返りの欄があり、定型化されています。保育の振り返りは計画で意図したねらいに沿って行われていて、振り返りの結果は、その後の計画作成に反映されています。 ・保育士一人一人の自己評価を踏まえ保育所としての自己評価を行っています。自己評価の結果について職員会議で話し合い、保育所としての課題を明らかにし改善に向けて取り組んでいます。 ・職員の自己評価、保護者アンケートの集計結果を数値化し、ホームページに掲載しています。また、園としての自己評価もホームページに掲載しています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員育成要綱」の「キャリア基本表」、「キャリア別課題」に新任、初認、中堅前期、中堅後期、上級の階層ごとに求められる役割や身に付けてほしい技術などについて明記しています。 ・担当や委員会などで現場の職員に可能な限り権限を委譲しています。 ・「職員面接シート」に園への改善提案や運営面での提案を記入する欄を設けています。園長は、年2回の職員面接で、職員の満足度や要望を把握しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の服務規程に職員が守るべき法・基本・倫理等を明記し、全職員に配付するとともに、全体職員会議でも周知しています。ホームページで資金収支計算書、貸借対照表を公表しています。 ・他施設で事故事例を受けてアレルギー対応研修を行うなど、他施設での不正、不適切な事案をもとに、それらの行為を行わないように啓発しています。 ・ゴミの分別を行うとともに、廃材を製作の素材として用いたり、廃材で手作りおもちゃを作るなどリサイクルしています。横浜市資源環境局金沢事務所によるヨコハマ3R 夢講座を子どもたちが受けていま

<p>リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市緑アップ計画緑化助成事業に応募し、園庭を芝生化していて、横浜市緑アップ計画のステッカーを門の外の掲示板に貼っています。 ・夕涼み会におわんやコップ、フォーク等の持参を呼び掛けたり、運動会のゴミ持ち帰りを依頼するなど、行事のおたよりで園の環境に対する姿勢を表明し、保護者に協力を依頼しています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程や事業計画、園のしおりなどに保育理念や保育方針、園目標を明記するとともに、玄関、保育室、事務室などに園目標を掲示しています。非常勤職員を含む全職員が出席する全体職員会議で理事長、園長が理念について話しています。また、必要に応じて職員会議で取り上げ、確認しています。 ・年2回の個人面談で、園長が理念、方針を職員が理解できているか確認しています。自己評価シートにも理念についての項目を設け確認しています。園長、主任は指導計画や日誌などをチェックする中で、職員が理念や方針を理解できているかを確認し、必要に応じて指導しています。 ・定員を20%超えて園児を受け入れるなど重要な意思決定にあたり、園長は保護者に説明し意見を聞いています。また、子ども子育て新制度の導入など重要な意思決定にあたっては、園長は職員および保護者に理由や経緯を説明しています。 ・異なる部門の職員による安全委員会、食育委員会などの委員会があり、組織を上げて取り組む体制ができています。 ・主任はフリーの立場でクラスに入り、職員の業務状況を把握し、個々の職員の能力や経験に合わせ、助言や指導をしています。また、主任は個々の職員の様子を見守り、必要に応じて声をかけてコミュニケーションを取り、悩みを聞くなどしています。
<p>VI-3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は横浜市や金沢区の園長会、幼保小教育連携会議、並木地区施設長会、並木地区エンジョイ委員会などの会議に出席し、事業運営に影響のある情報を収集し分析しています。重要な情報はリーダー会議で討議し、重点改善課題として設定し、職員会議で報告し、園全体で課題として取り組んでいます。 ・園長や理事長は職員会議などで、今後の方向性などを職員に示してはいますが、中長期計画として文書化するまでには至っていません。理事長、園長などの経営層と現場の職員とで進むべき方向性についてすり合わせを行い、理念に向かってどのように進むかを、中期計画としてまとめることが期待されます。 ・理事会では、次代の組織運営に備え新たな仕組みについて常に検討しています。 ・会計事務所、社会保険労務士、弁護士、災害の専門家などから運営に関する意見を聞いています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2014年7月14日～7月29日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 53.6%%（84枚配付、45枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…4人、1歳児クラス…12人、2歳児クラス…5人、3歳児クラス…14人、4歳児クラス…5人、5歳児クラス…3人、無回答…2人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。
※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

- ・回収率が53.6%となっていますので、全ての保護者の意見を反映したものとはなっていません。
- ・園の保育目標、保育方針について「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は合わせて77.8%です。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の中で、保育目標や保育方針に「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えた割合は、合わせて94.3%です。
- ・設問の中で比較的満足度が高いのは、「施設設備について」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」の97.8%、「クラスの活動や遊びについて」「戸外遊びを十分にしているか」「園外活動について」「遊びを通じた健康づくりへの取り組みについて」「あなたのお子さんが大切にされているか」「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」「話しやすい雰囲気、態度であるか」の95.6%、「入園時の面接などでお子さんの様子や生育歴などを聞く対応」「費用やきまりに関する説明について」「おもちゃや教材について」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「午睡や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」の93.3%です。
- ・一方、「不満度」が比較的高い項目は、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」「園の行事や開催日や時間帯への配慮について」の22.2%、「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」「意見や要望への対応について」の15.6%です。
- ・総合的な満足度は「満足」（62.2%）、「どちらかといえば満足」（35.6%）合わせて97.8%と極めて高くなっています。
- ・自由意見欄には、「近くに緑の多い環境なので、お散歩でも自然に触れ合える機会が多く満足しています」「全体的に温かい雰囲気の良い園です」「先生方はクラスを問わず話しやすい方たちばかりで安心します」などの感謝の声が多数あります。一方、行事の日程や開催時間、3月31日の休園、誕生会への保護者の出席、薄着などについて様々な意見が寄せられています。

◆まとめ

- ・遊びの項目についての設問は全項目について満足度が高く、子どもが保育園を楽しんでいる様子を見て、保護者が安心し満足していることが伺えます。
- ・園が大切にしている薄着や裸足について、保護者から不安の声があがっていますので、園の方針だけでなく園が行っている細かな配慮についても具体的に説明することが期待されます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2016年7月14日～7月29日

回収率：53.6%（回収45枚／配布84枚）

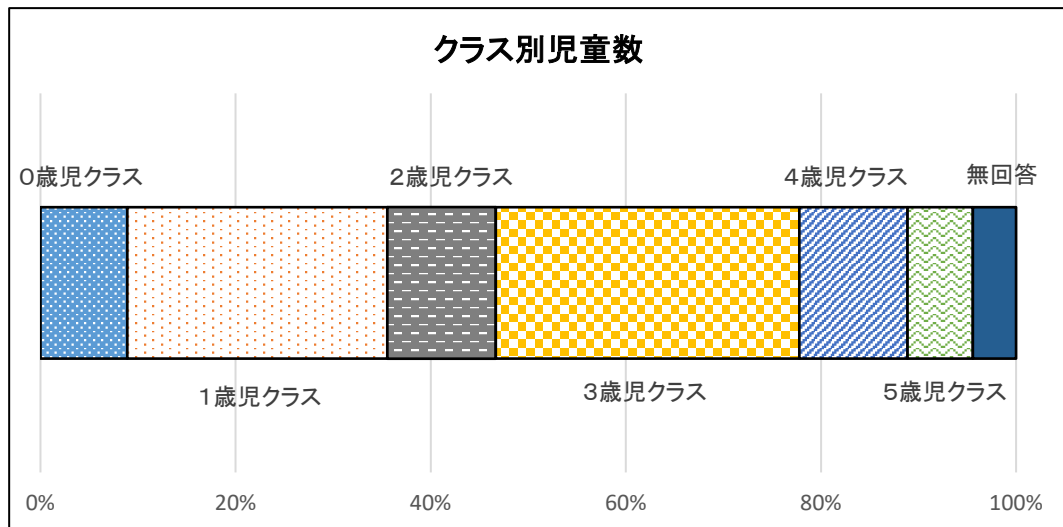
【属性】

クラス別児童数

(人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
45	4	12	5	14	5	3	2

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

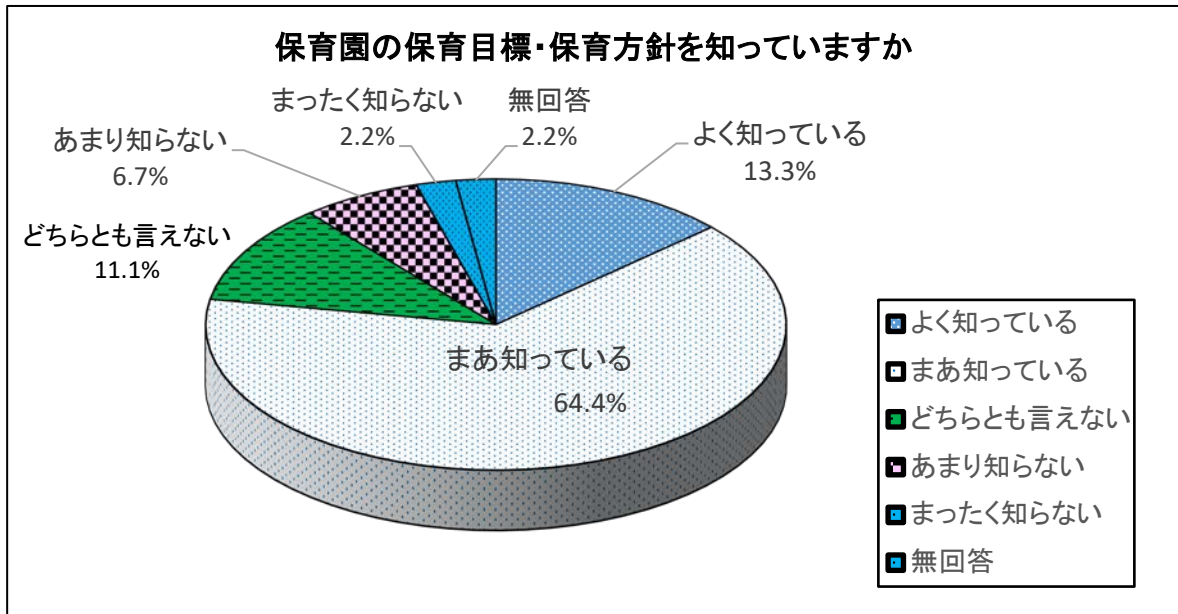


■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	13.3%	64.4%	11.1%	6.7%	2.2%	2.2%	100.0%

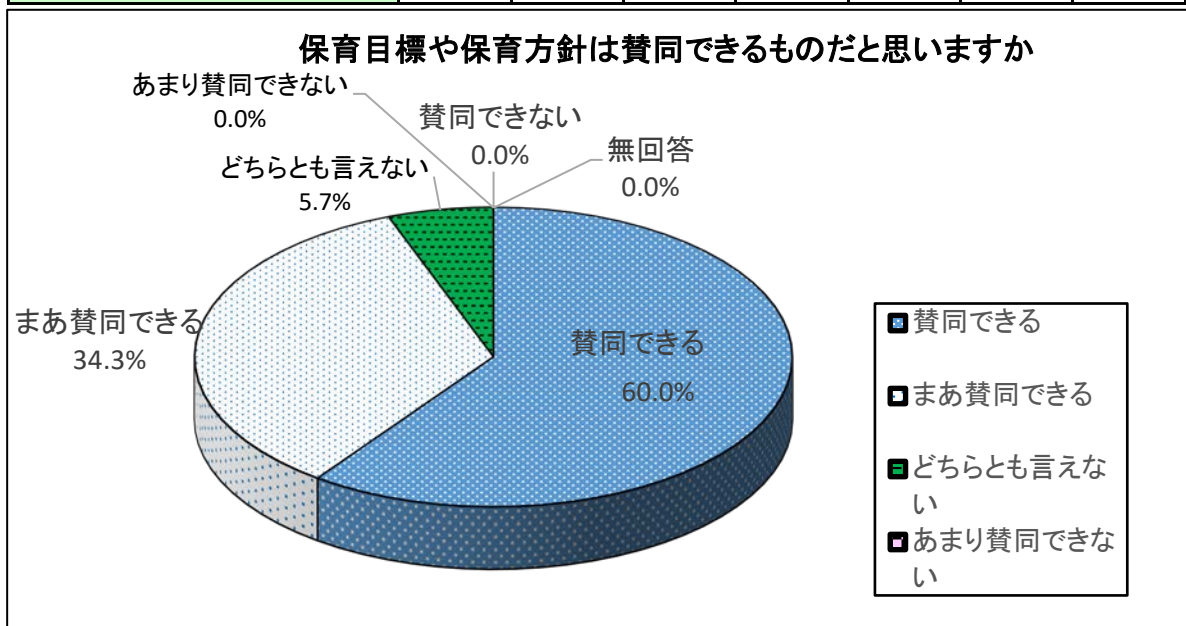
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	60.0%	34.3%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

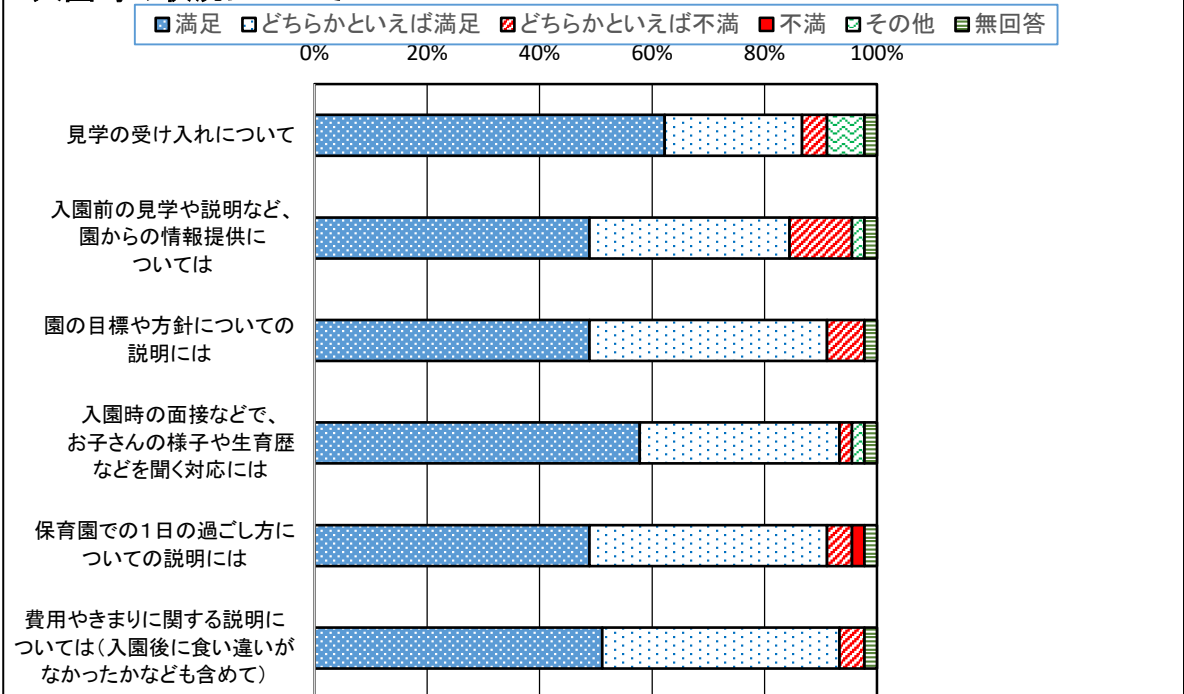


■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	62.2%	24.4%	4.4%	0.0%	6.7%	2.2%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	48.9%	35.6%	11.1%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	48.9%	42.2%	6.7%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	57.8%	35.6%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	48.9%	42.2%	4.4%	2.2%	0.0%	2.2%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	51.1%	42.2%	4.4%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%

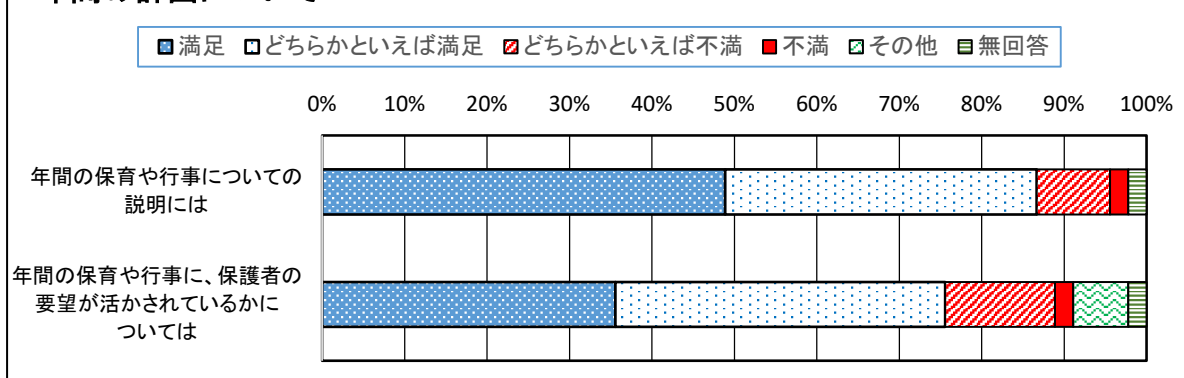
入園時の状況について



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	48.9%	37.8%	8.9%	2.2%	0.0%	2.2%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	35.6%	40.0%	13.3%	2.2%	6.7%	2.2%	100.0%

年間の計画について



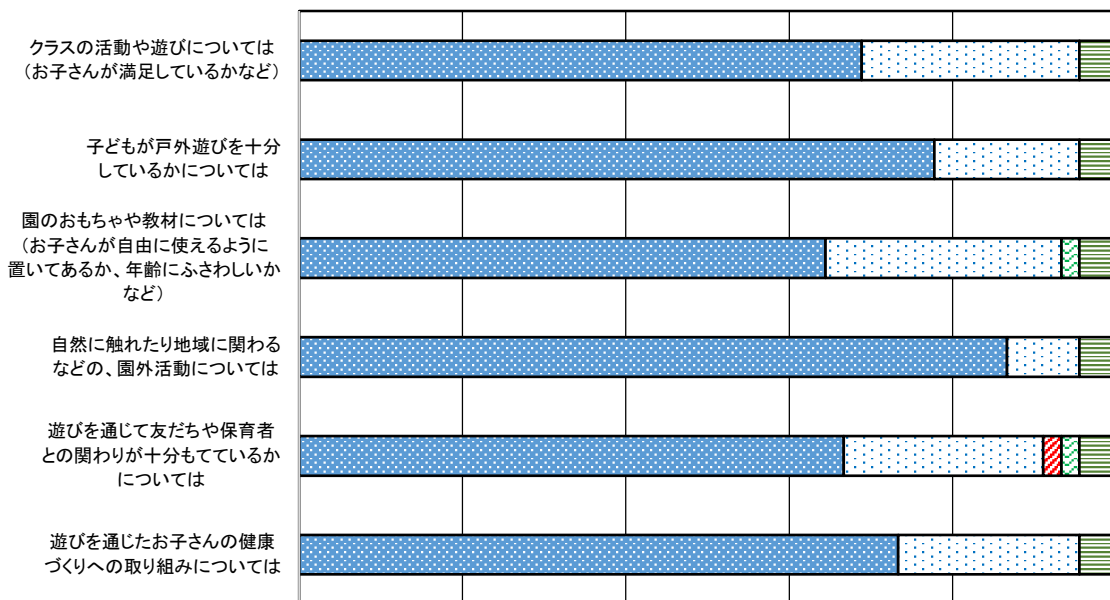
問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

●「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	68.9%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	77.8%	17.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	100.0%
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	64.4%	28.9%	0.0%	0.0%	2.2%	4.4%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	86.7%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	66.7%	24.4%	2.2%	0.0%	2.2%	4.4%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	73.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	100.0%

日常の保育内容「遊び」について

■満足 □どちらかといえば満足 ▨どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



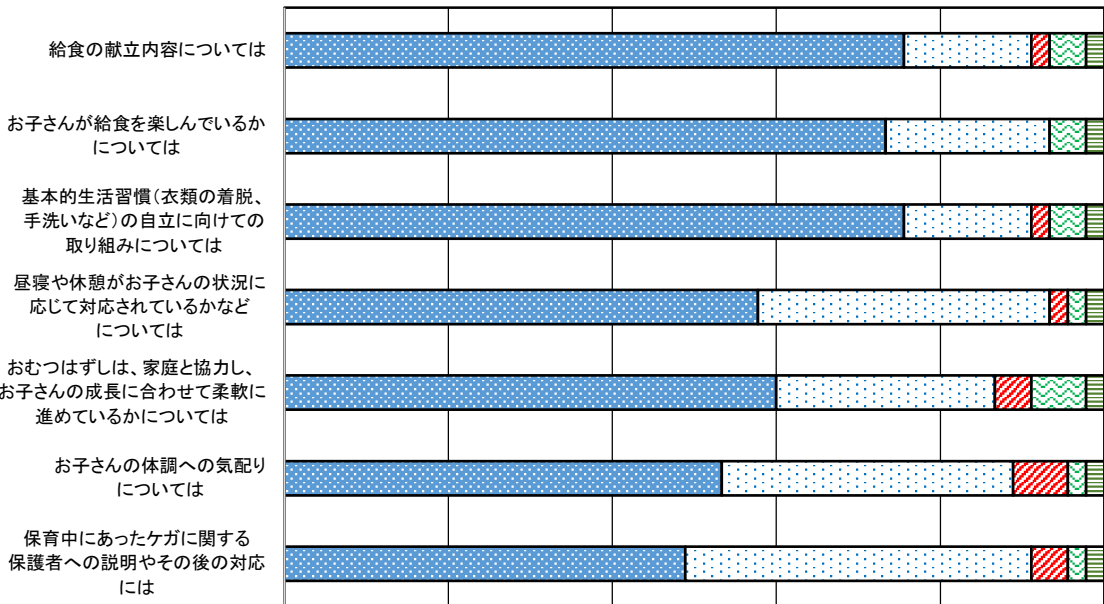
●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	75.6%	15.6%	2.2%	0.0%	4.4%	2.2%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	73.3%	20.0%	0.0%	0.0%	4.4%	2.2%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	75.6%	15.6%	2.2%	0.0%	4.4%	2.2%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.8%	35.6%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	60.0%	26.7%	4.4%	0.0%	6.7%	2.2%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	53.3%	35.6%	6.7%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	48.9%	42.2%	4.4%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%

日常の保育内容「生活」について

■ 満足 □ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 ■ その他 ■ 無回答

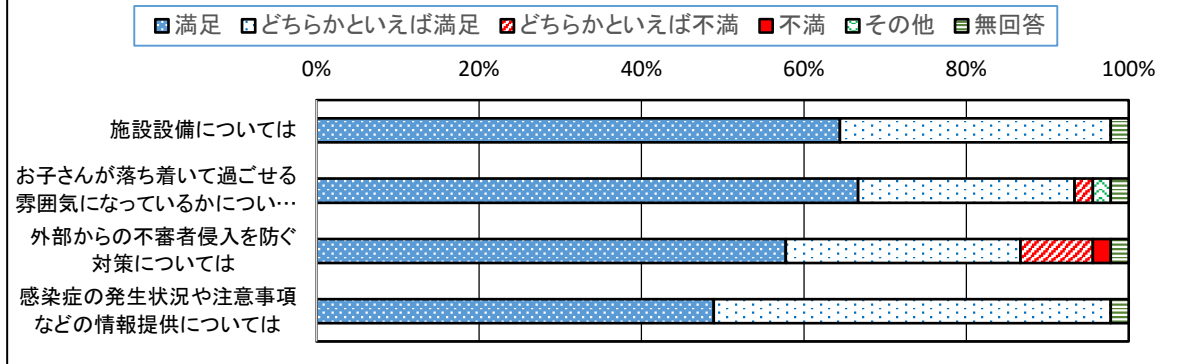
0% 20% 40% 60% 80% 100%



問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	64.4%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	66.7%	26.7%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	57.8%	28.9%	8.9%	2.2%	0.0%	2.2%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	48.9%	48.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%

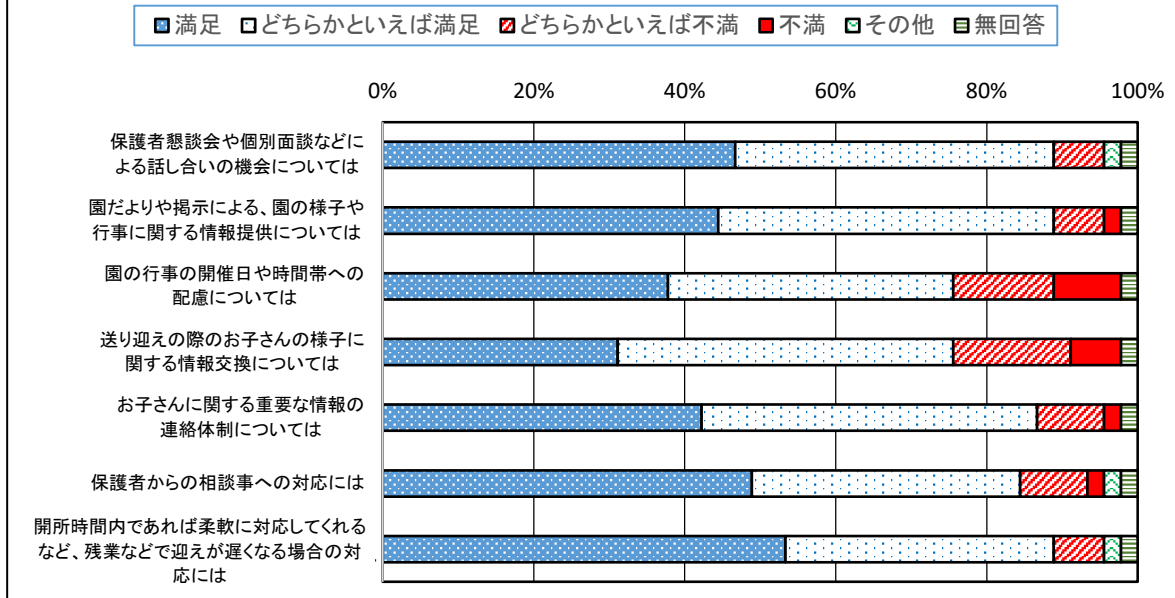
快適さや安全対策などについて



問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

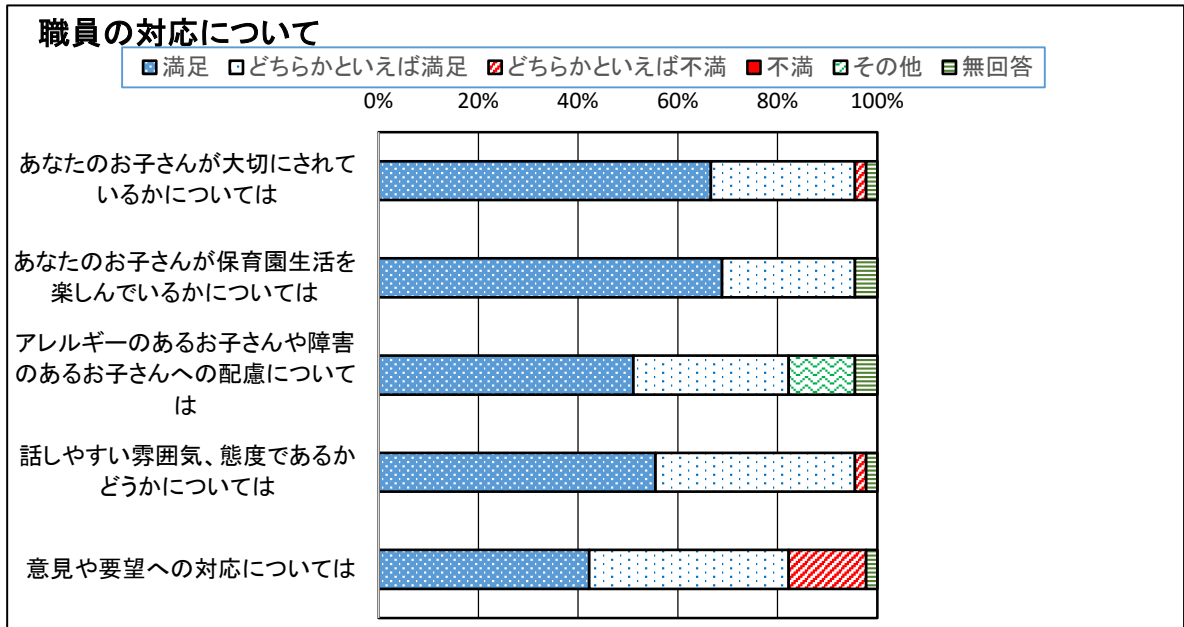
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	46.7%	42.2%	6.7%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	44.4%	44.4%	6.7%	2.2%	0.0%	2.2%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	37.8%	37.8%	13.3%	8.9%	0.0%	2.2%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	31.1%	44.4%	15.6%	6.7%	0.0%	2.2%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	42.2%	44.4%	8.9%	2.2%	0.0%	2.2%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	48.9%	35.6%	8.9%	2.2%	2.2%	2.2%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	53.3%	35.6%	6.7%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%

園と保護者との連携・交流について



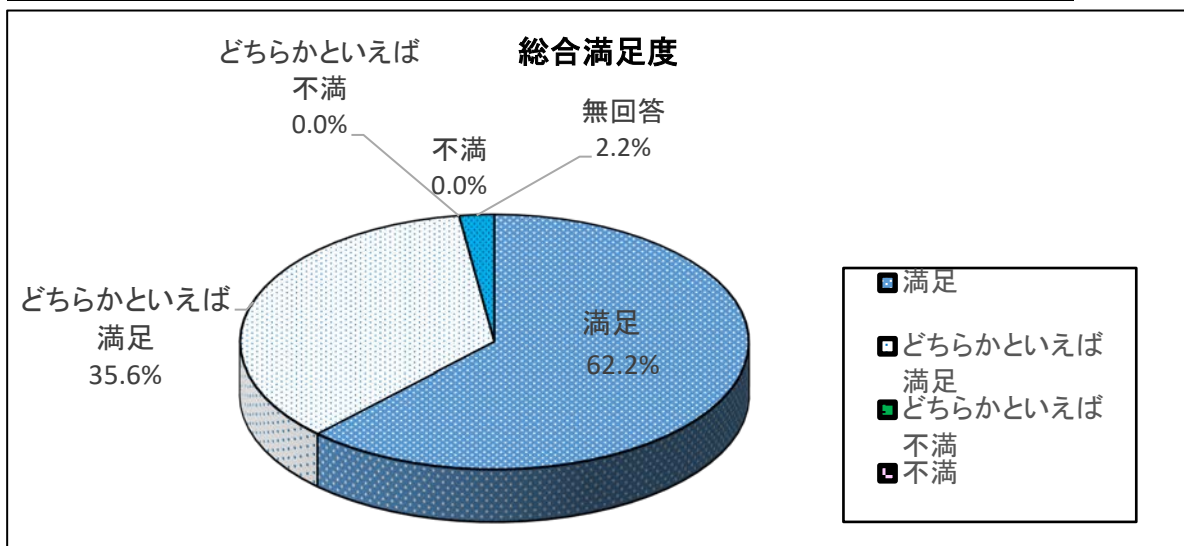
問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	66.7%	28.9%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	68.9%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51.1%	31.1%	0.0%	0.0%	13.3%	4.4%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	55.6%	40.0%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%
意見や要望への対応については	42.2%	40.0%	15.6%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	62.2%	35.6%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%



利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①9月13日（火）9：10～12：40 ②9月16日（金）8：40～12：40

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

◆ 0歳児クラス

朝の会で保育士が、「大きな栗の木の下で」や「朝の会」の歌を歌うと、子どもたちはそれに合わせて手を上に上げたり、キラキラさせたりしています。自由遊びの時間には、個別の状態に合わせて色水の入ったペットボトルで遊んだり、人形を抱っこして歩いたり、ベビーラックの上で睡眠をとったり、抱っこで授乳をしてもらったり、オムツ替えをしてもらったりと、個々の状況に合わせた時間となっています。

離乳食の時間が始まると、保育士は、子どもたちが遊んでいる畳のスペースとテーブルのスペースの間に、軽量のパーティションを設置します。離乳食は、基本的に一対一で与えることになっているようで、一人ひとり、抱っこをされながら「お手手拭きましょう」「いただきます」など十分声をかけられ、食事をしました。口から食べ物を出す子には、「おいしいんだよ」「いやだったの？」など声をかけています。子どもたちの活動は一斉ではなく、個別のリズムを大切にしながら生活を送っているようでした。

◆ 1歳児クラス

朝の会で保育士が、天気が雨であることを子どもたちに説明し、何をしたいか聞きました。「プール！」など様々な声上がり賑やかになります。保育士は、子どもの声を受けて、雨にちなんだ歌などを歌っていきます。手遊びをつけて大きな声で歌ったり、小さな声で歌ったりしていくと、次第に子どもたちの集中力が高まっていきます。おやつを終えると、テラスへ移動します。外気に触れながら電話ごっこをしたり、ペンギンや象のブロックをもっておしゃべりしながら歩いたり、上を見て雨粒が落ちてくるのを見たり、0歳児の保育室を覗き込んだりと、それぞれ自由に遊んでいます。片付けの際には、「ありがとう」「すごい」「偉い」「重いよね」など保育士が声をかけ、子どもたちは張り切って片付けに参加していました。

11時になると3人ずつのグループ2組が食事を始めます。保育士が一人ずつ付いて一緒に食べます。「上手だね」「すごいね」「偉いね」「かっこいい」などと声をかけながら、ゆっくり時間をかけて食べています。食べ終わった子どもは自分で片付けて、畳のスペースに保育士と移動し、次のグループが食事についています。

昼寝は子ども2人ずつに声をかけ、着替えをし、膝にのせて本読み、寝かせつけをゆっくり進めていきました。

◆ 2歳児クラス

朝のおやつを終えると、子どもたちはトイレに行きます。走る子どもには「歩いてどうぞ」と声をかけています。子どもたちは自分でズボン等をはき、最後のチェックは保育士が行っていました。

リズム運動では、青チーム、白チーム交互にカエルやウサギの動きをしながら、体操をします。あまり動こうとしない子どもには、保育士が手をつなぎながら、一緒に体操をしていました。子ども同士軽くぶつかったり、引き出しを開けてよそ見している子どもには、保育士が適宜声をかけていました。

給食の時間は、4つのテーブルに4～5名ずつ分かれて食べています。保育士は「ごはんどのくらい入れますか？」「少なめにするから、おかわりして下さい」と声をかけ、食事中には、ごはん、おつゆ、おかずを順番に食べるように声掛けしていました。

パジャマの着替えなどは、自分でできるように、保育士は最低限のお手伝いに留めているようでした。脱ぐときも、保育士が全部は脱がさないように配慮をしていました。

◆ 3 歳児クラス

朝の会では、当番の子どもが名前を呼んでいきます。「お休みは何人ですか」と保育士がたずねると、当番の子どもが人数を数えて「今日の〇〇グループは〇人です」と答えます。「9月16日金曜日、お誕生日会です。お母さん先生が二人います」と、保育士が今日の予定を子どもたちに伝えていました。朝の挨拶を終えると、「長い針がうさぎさんになってから、下にいきます。トイレ、お茶、絵本を読んで待っていてください」と保育士が子どもたちに伝え、次の行動を分かりやすく説明していました。

全体で行う誕生日会を終えると、保育室に戻り、じゃんけん列車やリズム体操など、保護者とともに身体を動かして遊びました。保護者の方も一生懸命体操に参加し、子どもたち、保育士、保護者が一体となって楽しんでいます。子どもたちはその後、順番でシャワーを浴びていました。

食事はバイキング形式のため、自分でよそい、着席した子どもから順次食事をしていました。食べ方や片づけの仕方について、子どもたち同士で注意し合っている様子が見られました。

◆ 4 歳児クラス

朝の会のなかで保育士は、小さなホワイトボードに描かれた2つの時計の絵を出し、「これ、何時だ？」と聞きました。子どもたちが、「10時！」と答えると保育士は、「正解！10時になったら体操をはじめます」と言い、今日の予定を子どもたちに伝えていました。

自由遊びでは、席について塗り絵をしている子どもや、ふくわらいをするなど落ち着いて遊ぶ子ども、空いたスペースで、保育士に飛びついてくる子どももいます。その後、エビカニ体操などのリズム体操を全員で踊り、体操教室の時間となりました。

体操教室は、ホールで運動会に向けたパラバルーンを行いました。体操専門の先生が「なみーって言ったらパタパタしよう」「ばんざーい」「にんじゃ、おやま、にんじゃ」など、動きに名前をつけ教え、子どもたちはテンポよく、号令に合わせてパラバルーンを動かします。

体操教室を終えると、シャワーを順番に浴びました。裸で走り回ることには、「ちゃんとタオル巻いてね」「裸で遊びませんよ」など声をかけていました。

◆ 5 歳児クラス

5歳児の係り活動の時間8時45分になると、子どもたちは自分たちで動き出します。

たんぼぼ(2歳児クラス)のおやつ準備をする係、テーブルを拭く係、お茶の係など、どの係も、保育士に何も言われなくとも、子どもたちがそれぞれの役割を果たしています。

朝の会で保育士が、誕生日の子どもに何を歌いたいか聞きました。子どもたちがリクエストした曲を中心に、4曲ほど大きな声でしっかり、子どもたちは歌っていました。

全体の誕生日会はホールで行われ、全園児と誕生児の保護者が見守るなか、保育士による寸劇や園長からの誕生日カード贈呈などが行われました。

全体の誕生日会を終えると、ホールの机や椅子の片付けを子どもたちがしていました。どれが乳児用のイスかという指示を受け、子どもたちは自分たちで相談して並べていました。

クラスでは、ハッピーバースデーの歌をうたい、誕生日会に参加した保護者ととともに、鍋鍋底抜け、ミックスベジタブルの歌などをピアノ伴奏で歌いながら踊った後に、音楽をかけてエビカニ体操、タケノコ体操、アンパンマン体操、ラーメン体操と続けて行います。子どもたちも保護者も保育士も一緒に全身を使って楽しそうに踊っていました。

その後、順番にシャワーを浴び、シャワーの時に服が足りなかった子どもを2人ずつ呼び、洋服の点検をしていました。ロッカーに必要な服が絵と平仮名で書かれていて、子どもたちはそれを見ながら自分でチェックし、メモに自分の名前と何を持ってきたらよいかを自分で書いていました。まだ文字が上手く書けない子どもには、見本を見せながら説明し、保育士が書いて見せたり、手を添えたりしていました。

事業者コメント

金沢ふたば保育園の保育は開設より、保育理念である「子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園」を目指し、子どもの最善の利益を第一に考えた保育、支援を実践してまいりました。

今回の第三者評価を受審するにあたり、職員間で話し合い、意見交換をしながら現状の保育を見つめ直すこと、保護者の方々にどのように受けとめていただけているのかを把握する等、様々な事の振り返りを通して園全体を見直す良い機会となりました。

この受審結果により、本園の良さや課題が見えましたが、今後その課題を真摯に受けとめるとともに、本園を高く評価していただけたことについては、更により良い保育園を目指すうえでの大きな糧となりました。特に保護者の皆さまからは大変貴重なご意見をありがとうございました。第三者評価委員の方より、ご指導いただきました内容については今後の課題として園運営、保育に活かし、職員一同より良い保育園を目指し努力していきたいと思っております。

最後になりましたが、お忙しい中アンケートにご協力下さいました保護者の方々をはじめ、このたびの評価に携わっていただいた皆様に深く感謝申し上げます。

社会福祉法人 黎明会
金沢ふたば保育園

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

- 市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

- 横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

- かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町4-49 NGS横濱馬車道802号室

TEL : 045-222-6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>